

幼児期、幼小接続期における幼児教育施設や家庭への支援



岐阜市子ども・若者総合支援センター
“エールぎふ” 所長 村田 伊津子

“エールぎふ”の機能

子ども・若者総合支援センター
“エールぎふ”機能図

★“エールぎふ”は、社会の変化による子どもや若者に関する問題の複雑化・多様化に対応するため、平成26年4月に創設。支援を必要とする子ども・若者やその家族、教師などのあらゆる悩みや不安を、専門家や関係機関と連携し、ワンストップで総合的・継続的に支援。平成31年4月より「**子ども家庭総合支援拠点**」を設置。

相談者の抱える課題を整理し、環境を整えることで、自律的問題解決を支援する相談機関
切れ目ない支援を実現するための「システムによる継続的な個人情報管理」

20歳
18歳
15歳
12歳
6歳
5歳
4歳
3歳
2歳
1歳
0歳
継続的

例：学校と“エールぎふ”との関係



【人的資源】全119名（注：以下の○非常勤職員は含まず）
（職員の資格）臨床心理士・公認心理師・臨床発達心理士等、社会福祉士、保健師、精神保健福祉士、幼・小・中・養・特支教諭、保育士等

- 医療相談 毎週火曜日 9:00～12:00 児童精神科医(隔週2)
- エールぎふ診察室 毎週木曜日 9:00～16:00 小児科医(1)
第4金曜日 14:00～17:00 小児科医(1)
月2回水曜日 13:00～16:00 小児科医(1)
- カウンセラー 月曜日～金曜日 9:00～17:00 臨床心理士(6)
- 専門相談員 弁護士(1) 発達障がいアドバイザー(4) 児童虐待アドバイザー(1)

〈若者への包括的支援〉

- 自己理解を深めるための相談支援
- ソーシャルスキルの獲得支援
- 自立した生活のためのきっかりナズリ
- 就学・就労に向けての相談支援
- 能力開花のための適性検査の実施とフィードバック
- 個別支援計画に沿った支援の実施
- 「保護者の会 ゆづゆと」の運営

〈教育相談〉

- 子ども・若者自立支援教室の運営（4ヶ所5教室）
- 不登校に関する相談
- アウトリーチ支援
- 「保護者の会 ぼちぼちいこか」の運営

〈発達障がい相談〉

- 発達検査
- 保護者(本人) 学校へのフィードバック
- 就学相談
- 訪問発達相談
- ペアレント・トレーニング
- 「保護者の会 ゆったりゆったり」の運営
- 放課後居場所づくり事業

〈児童虐待相談・養護相談〉

- 児童虐待防止、啓発
- 特定妊婦支援
- 養育支援訪問事業
- 個別のペアトレ
- 子ども見守り
- 宅食支援事業

■要保護児童対策地域協議会



〈発達相談〉 ・育児、発達相談 ・発達検査 ・医療、保健、療育機関との連携	〈就学前巡回相談〉 ・幼稚園、保育所(園)からの要請による訪問・相談・課題の共有・助言	〈乳幼児発達支援〉 ・親子教室の運営 ・子育て、就園相談	〈幼児の発達支援〉 ・8カ所の幼児支援教室の運営 ・就園、就学相談 ・幼・保・小の連携
		1歳6ヶ月児健診	

(職員数)	I a- 乳幼児相談係 (10)	I b- 親子支援係 (8)	I c- 乳幼児支援係 (46)	II- 家庭児童相談係 (13)	III- 発達支援係 (7)	IV- 教育支援係 (14)	V- 才能伸長・自立支援係 (7)
-------	------------------	----------------	------------------	------------------	----------------	----------------	-------------------

管理職(3) 総合相談(5) SSW (3) 総務 (3) 専門アドバイザー	総合的【横断的】	
(旧) ~H25 発達相談センター (福祉部)	公立幼稚園 4～5歳 こたの教室(教育) 発達相談センター3歳こたの教室(福祉)	子ども家庭課 (福祉部)
少年センター(教育委員会)		

1人で
悩まないで!

ひきこもり

就学就労

・相談を受けるだけでなく
継続的な支援の場がある

心身の
健康

非行問題

・子どもの支援に必要な
あらゆる情報が集まっている

いじめ

人間関係

心身の
発達

不登校

・困ったら、まず“エールぎふ”へ

子育て
不安

学力不振

虐待

発達
障がい

0歳

- ◇ 子ども・若者に関するあらゆる悩み・不安に対応
- ◇ ワンストップで総合的に支援
- ◇ 発達段階に応じて継続的に支援

■ 岐阜市子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”のご案内

“エールぎふ”は、「子ども家庭総合支援拠点」として

- ◆ 0歳から20歳前までの子ども・若者に関するあらゆる悩み・不安の相談に対応します。
- ◆ ワンストップで総合的に相談・支援します。
- ◆ 発達段階に応じて継続的に支援します。

IからVの係が、ご相談に対応しています。



一人で
悩んでいませんか。
ご相談ください。
お待ちしております。



8:45~17:30	シモン ナヤマゼロ
・総合相談	0120-43-7830
緊急	
・児童虐待通告専用	058-269-1800
24時間(子ども専用)	
・子どもホットダイヤル	0120-43-1474
・子どもホットメール	sh.43zime-nashi@city.gifu.lg.jp

研修・講座等

- 長良川大学出前講座
- “エールぎふ”講演会
- ペアレント・トレーニング

総合相談

- 電話相談 ○来所相談 ○メール相談

専門アドバイザーによる相談

- カウンセリング
- 医療相談(児童精神科医)
- 法律相談(弁護士)

SSW[®]によるケース検討会議

※スクールソーシャルワーカー

乳幼児相談・支援の3つの係

I a 乳幼児相談係

- 発達相談(来所・家庭訪問)
- 就学前巡回相談
- エール診察室(小児科)
- 交流保育 ○療育DVD貸出
- 療育総合判定会議(子ども保健科と協同)

I b 親子支援係

- 親子教室
- 対象: 1~2歳児(未就園児)
- 形態: 小グループ活動
- 場所: 北及び南保健センター
エールぎふ・もえぎの里

I c 乳幼児支援係

- 幼児支援教室
- 対象: 3~5歳児 ○形態: 通級制
- 場所: 長良・岐阜北・鷺山・岐阜東
市場・加納・岐阜南・横津の
市内5教室

II 家庭児童相談係

- 児童虐待相談・通告
- 継続相談

※家庭での子どもの養育環境(経済的困窮、保護者の疾病、外出など)

III 発達支援係

- 発達相談(検査・FB・訪問発達相談)
- 対象: 発達に心配がある児童生徒
- ソーシャルスキルトレーニング
- 対象: 個別支援が必要な児童生徒
- 保護者の会「ゆったりゆったり」

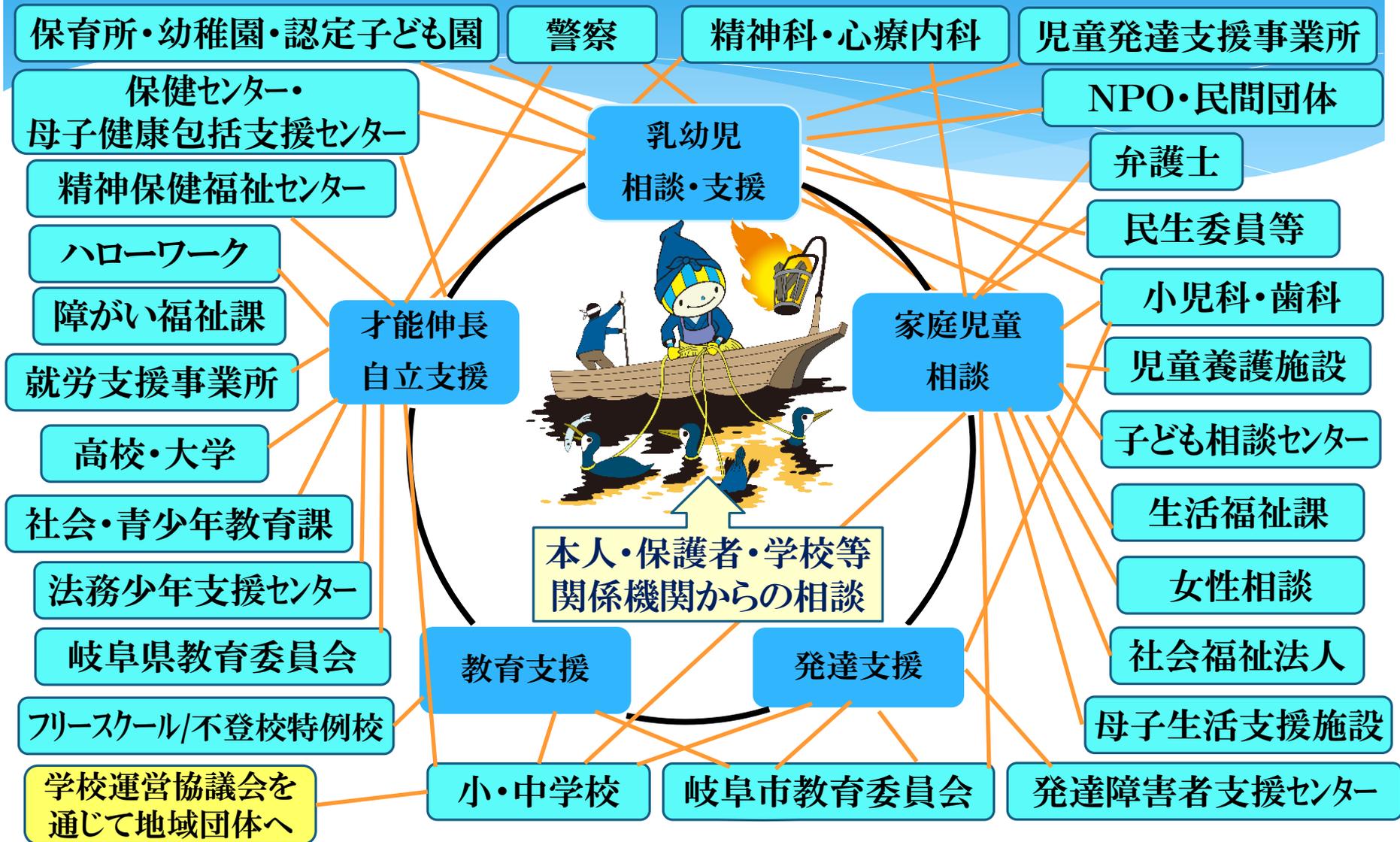
IV 教育支援係

- 子ども・若者自立支援教室
- 対象: 岐阜市内の不登校児童生徒
- 場所: 明徳・岐阜・七郷・芹見
の市内4箇所5教室
- 保護者の会「ぼちぼちいこか」

V 才能伸長・自立支援係

- いじめなどの問題行動に関する相談
- 対象: 小中学生・高校生
- 義務教育終了から成人前の若者の相談
- 対象: ひきこもり、非行、家庭内暴力、
対人関係などに悩む若者
- 保護者の会「ゆうゆうと」

“エールぎふ”の連携先



岐阜市のセーフティネット

学校・教育委員会・福祉部
保健センター・病院等

保健センター・福祉部・病院・
NPO・民間団体等

“エールぎふ”が関係機関と連携し、セーフティネットを設置している箇所・幼稚園や保育所、学校等、所属先からの相談も年々増加している。

義務教育
終了

20歳

就学時健診

5歳児健診

学校・教育委員会・保育所・幼稚園・子ども園・
児童発達支援事業所・保健センター・病院等

3歳児健診

病院等

保健センター
病院等

1. 6歳児健診

保健センター・病院等
健診時の再相談を
“エールぎふ”職員が担当

妊娠・出生時
赤ちゃん訪問

保健センター・病院・女性相談窓口・
母子健康包括支援センター等

・それぞれの健診時や節目の時期に、発達面・育児面で心配なお子さんや、虐待リスクの高い親子の情報は、“エールぎふ”につながるよう、それぞれの関係機関が尽力している。特に、早期発見・早期対応の視点からも、全ての子どもが受診する1.6歳児健診を重要視し、“エールぎふ”の職員を派遣。



子どもの健全な育成を阻む「無理解」

乳幼児期

児童期

青年期



無理解

**育てにくい子
育ちにくい環境**

- 叱責の連続
- 虐待被害
- 集団への不適応
- 自己否定



- 人と関わりたいという意欲も低下

- 反社会**
- 暴力行為
- 触法行為

- 非社会**
- 不登校
- ひきこもり
- 精神疾患

健全育成には「理解」や「支援」が必要

乳幼児期

児童期

青年期



理解

- 大人への信頼
- 集団への適応
- 自己有用感
- 自己肯定感



集団の一員としての自信や誇り

自己実現
社会的
自立へ



育てにくい子
育ちにくい環境

虐待は保護者からのSOS

感覚過敏から、抱っこを拒否する赤ちゃんもいる。何度も同じ失敗を繰り返してしまいう幼児もたくさんいる。しかし、そんな子どもを前にして、どうしたらいいのかわからず、怒ってしまう親の方が多い。

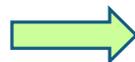


「褒めて育てることが大切」という理屈は知っていても、どのような行動をとらえ、どのタイミングで褒めればいいのかわからない。そもそも、褒める場面を見つけられない保護者が多い。

心が動く遊びを通して 身近な大人への信頼を 育む



この人と
遊ぶと
楽しい!



自分の思いを
伝えたい!



ことばの発達



大好きな
大人への期待



話を聴く姿勢



大好きな大人から
褒めてもらう経験



大好きな大人への
信頼・愛着



今のままの自分で
大丈夫!
自分自身への信頼



親を支えることで子どもを支える

苦しんでいる親世代

- * 自分が育てられてきた環境とわが子を育てる環境の違い
- * 核家族による子育て応援者の不足
- * 地域とのつながりの希薄さ



社会全体で、親も子どもも支える。



切れ目ない支援を目指して

小学校

- ・保護者に承諾を得た上で、具体的な引継ぎができるため、小学校側は事前の準備が可能に。
- ・就学後も、子どもへの対応に困った場合は、“エールぎぎふ”へ相談が可能。

- ・学校見学
- ・個別の指導計画や引継ぎシートによる丁寧な引継ぎ

- ・小学校教諭による保育参観
- ・幼稚園教諭による学校参観
- ・引継ぎ
- ・幼保小子合同研修会による相互理解

幼児支援教室(3~5歳児)

親子教室(1, 2歳児)

乳幼児相談係

- ・この間に、時間をかけて、保護者や関係者の理解を促す。

1歳6か月児健診

- ・親学級訪問・指導参観
- ・連絡帳による情報交流

幼稚園
保育所
認定こども園
他

- ・就学前巡回相談による職員への専門的な助言

幼稚園・保育所・子ども園・小学校 合同研修会や小学校との引継ぎ会

- * 引継ぎ内容を通じて、子どもの理解者を増やすと共に、子どもの行動の捉え方を先生方に学んでいただく。
- * “エールぎふ”では、新入学生の約1割について、保護者に承諾を得たうえで、幼児支援教室利用者としての引継ぎを実施。

